

はか せ
カエルくんと**アキツノイケ**研究所の**ウサギ博士**

お はなしのはじめに

国立環境研究所構内の森の中では、動物たちが仲良く暮らしています。森の中には秋津ノ池という小さな池があり、その池のほとりにはウサギ博士が勤務するアキツノイケ環境研究所があります。近所の小学生のカエルくんはウサギ博士と大の仲良しで、きょうもおしゃべりに来ているのです。



(マス番号 19) **今日もステーキ!** CO₂ +3



カエルくん

近所のイタチのお兄さんが今就活中なんだって。将来給料が上がったら、毎日牛ステーキを食べるのが夢だって言ってるよ。



ウサギ博士

へえ。イタチくん、それを楽しみにがんばってるんだね。





カエルくん

うん。でもお兄さんの彼女がその話を聞いて、将来の地球環境のことを考
 えられない人とは付き合えないって怒ってしまったんだって。
 なぜ牛ステーキを食べることが地球環境によくないの？

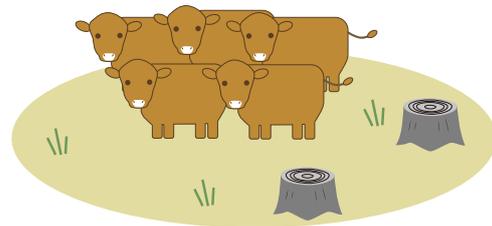


ウサギ博士

うーん ... 牛ステーキを食べること自体が悪いわけではないと思うよ。問題
 なのはみんなが毎日のようにたくさん食べつづけようとするので、必要
 以上に生産されてしまうことじゃないかな。

牛肉がたくさん売れるから、牧場ではたくさんの牛を育てるようになる。
 特に牛のげっぷには温室効果の高いメタンガスが含まれるから、たくさん
 の牛のげっぷは地球の温暖化を進めてしまう。

それだけじゃなくて牧場を広げるためにどんどん森林が伐採される。牛の
 飼料として今トウモロコシが多く使われているんだけど、栽培にはたくさ
 んの水と肥料が必要だし、その肥料を作るのにも、化石燃料がたくさん使
 われている。またそうして牛を増やして牛肉を作りすぎれば、食べ残しで
 捨てられる牛肉がどうしても増えちゃう。



カエルくん

それでお兄さんの彼女が怒ったんだね。
 でも、それじゃあげつぷをしない動物や魚や野菜でも育てるためにたくさ
 ん化石燃料や水を使ったり森林をどんどん伐採してしまったら、やっぱり
 将来の地球環境にはよくないってこと？



ウサギ博士

そういうことだね。どんな食べ物でも育て方で環境への影響は変わるし、
たくさん作りすぎればやっぱり環境への影響が大きくなるだろう。これか
らは地球全体のこととして考えなければならないんだ。

とりあえず僕たちはいろいろな食べ物を体に必要なだけ食べるようにすれ
ば、作りすぎが防げるから結局は将来の地球環境への影響も小さくするこ
とができると思うんだ。



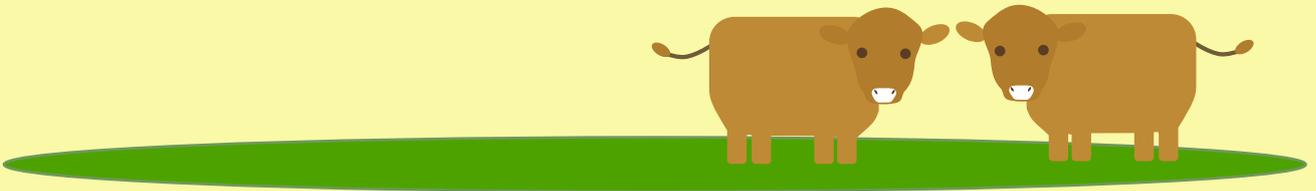
カエルくん

お兄さんには牛肉ばかり食べすぎないで、他のお肉とか野菜や魚も少しず
つ食べなさいって言っとくね。



ウサギ博士

あ、ウサギの肉は勧めないでね。



お話の手引きへ